

日本カリキュラム学会 広報・若手育成委員会

第4回若手育成セミナー

外国研究をどのように論文にするか

趣旨:

広報・若手育成委員会は、2025年2月22日(土)の10:00~12:30(オンライン)で、外国研究の論文のあり方について検討します。カリキュラム研究では、過去・現在の国外のカリキュラムに関わる研究や政策の動向、制度や実態に関する研究が数多く行われてきました。こうした「外国研究」論文は、日本のカリキュラム研究の相対化や新たな知見を得るために重要な位置づけを果たしてきています。

その一方で、カリキュラム研究において「外国研究」論文を執筆する上では多様な課題があります。第1は、そもそも何を対象とするべきなのかという研究対象の選定です。第2は、基礎となる資料やデータとは何か、どのように集めるのかという調査計画に関する問題です。第3は、とった資料を誰がどのように整理・分析し、考察するのかです。もちろん、どのような研究論文でもこうした問題はあり得ますが、とりわけ外国研究の場合、現地調査の有無や、地域的な差異をどれくらい意識すべきなのか、言語的な問題、分析の妥当性の検証をどのように行うかなど、進めていくうえで悩むことも多くあるかと思えます。

この集会では、現在、外国研究を行っている／行った方々を登壇者として迎え、これから研究を始める方に対して話題提供をいただき、それを踏まえながら参加者同士で議論を深めていく主旨となっています。前半は、前紀要編集委員から、外国研究のカリキュラム研究上の意義に関する説明をいただき、その上で、3名の会員から、ご自身の執筆した論文を事例として話題提供していただきます。とりわけ、研究の焦点や対象、調査方法やまとめ方についてお話しいたいただきます。後半は、「カリキュラム研究論文で何が課題となるか」といった点について、ブレイクアウト・グループに分かれて検討し、意見を交換し、知見を深めていきます。

本集会を通して、今後のカリキュラム研究を作る若手研究者のみなさんと共に、カリキュラム研究としての外国研究論文のあり方や方向性などを検討する時間にしたいと思います。お誘いあわせのうえ、ふるってご参加下さい。

日時:

2025年2月22日(土) 10:00~12:30 ※9:45 ごろから入室可。

形態:

Zoom によるオンライン配信

プログラム:

0. オープニング: 10分(趣旨説明など)

1. 話題提供: 15分

「カリキュラム研究における外国研究の意義」(京都女子大学 森久佳)

2. 話題提供(2):70分(※間に10分の休憩を挟む)

「外国研究論文をどのように執筆したか(1)」(神戸大学 石田智敬)

「外国研究論文をどのように執筆したか(2)」(広島大学 安藤和久)

「外国研究論文をどのように執筆したか(3)」(山口大学 山下大喜)

3. 論点整理&グループでの対話:15分

4. 話題提供者とフロアとのディスカッション:30分

5. クロージング:10分

コーディネーター・司会:西岡加名恵(京都大学)、川口広美(広島大学)

参加費: 無料(会員以外の方でもご参加いただけます)

参加申込:

参加希望者は、下記の URL から参加申込を行ってください。

<https://forms.gle/tk36Df6pgfd1ZaNn7>

2月19日(水)を参加申込締切とします。

※上記で参加申込されると、Zoom ミーティングの URL 等の情報が提示・メール送信されますので、当日まで保存してください。

問い合わせ先:

西岡加名恵 (nishioka.kanae.2v@kyoto-u.ac.jp)